主要プログラム

理事長講演　11月28日(土)　12:55～13:25　　**A会場(4F 国際会議室)**

座長：外山　聡(新潟大学医歯学総合病院)

福井総合病院で行ってきたパス活動あれこれ　―TQM の視点から―

勝尾　信一(つくし野病院)

会長講演　11月27日(金)　8:40～9:10　　**A会場(4F 国際会議室)**

座長：瀬戸山　博(ベリタス病院)

多職種で築くクリニカルパス　～患者・医療者・病院が輝くトキを創る～

外山　聡(新潟大学医歯学総合病院)

招待講演　11月28日(土)　10:45～11:45　　**A会場(4F 国際会議室)**

座長：金光　祥臣(新潟大学医歯学総合病院)

健康長寿時代を支えるアンチエイジング研究の最前線～輝くトキを創る～

前川　知樹(日本歯科大学新潟生命歯学部先端研究センター)

教育講演　11月27日(金)　13:40～14:40　　**A会場(4F 国際会議室)**

座長：濃沼　政美(帝京平成大学)

医療大転換期のクリニカルパス　―医療の質と持続可能性をどう支えるか―

池田　俊也(国際医療福祉大学医学部公衆衛生学)

特別企画　11月27日(金)　11:30～12:30　　**A会場(4F 国際会議室)**

座長：外山　聡(新潟大学医歯学総合病院)

新潟の日本酒の魅力を知る

青木　俊夫(新潟県醸造試験場)

シンポジウム１　11月27日(金)　9:15～10:45　　**A会場(4F 国際会議室)**

オーガナイザー / 座長：瀬戸山　博(ベリタス病院)

オーガナイザー / 座長：丸岡　博信(前橋赤十字病院)

クリニカルパスで叶える組織改革と医療の質向上
―病院幹部のパスマインドが繋ぐパスと多職種協働―

SY1-1　軽い神輿を上手に担ぐ、チームを育てるクリニカルパス

若草第一病院　山中　英治

SY1-2　パスを導入し推進するための活動と病院幹部との関係構築の取り組

元大阪公立大学医学部附属病院　井内　郁代

SY1-3　パス見直し促進を目的とした多職種によるパス推進活動体制の組成

兵庫県災害医療センター　瀧口　直彦

SY1-4　クリニカルパスを起点とした組織運営

松波総合病院　松波　和寿

シンポジウム2　11月27日(金)　9:15～11:15　　B会場(2F メインホールA)

オーガナイザー / 座長：北村　　臣(株式会社フィロソフィア)
オーガナイザー / 座長：櫃石　秀信(川崎医療福祉大学)
共催：日本診療情報管理学会

DPC 入院期間Ⅱ『中央値化』の衝撃とクリニカルパスの再構築
―令和8年度診療報酬改定への戦略的適応―

SY2-1　クリニカルパス日数設定方法の変遷
黒部市民病院　今田　光一

SY2-2　DPC入院期間改定に伴うクリニカルパス改定作業の必要性
高知大学医学部附属病院　橘　　克美

SY2-3　DPC/PDPSを意識したパス見直し候補の抽出と課題
板橋中央総合病院　目黒　康平

SY2-4　DPC期間II中央値化とクリニカルパス見直しへの情報活用
北里大学　荒井　康夫

SY2-5　急性期病院における入院期間II中央値化の意義ー看護の視点からー
青森県立中央病院　神山　智子

シンポジウム3　11月27日(金)　13:40～15:10　　B会場(2F メインホールA)

オーガナイザー：今田　光一(黒部市民病院)
座長：中熊　英貴(済生会熊本病院)
座長：下村裕見子(北里大学大学院医療系研究科)
座長：村木　泰子(NTT東日本関東病院)

その「パス」、本当にクリニカルパスですか？
―定義改訂の検討から考えるパスの本質と未来―

黒部市民病院　今田　光一
国立病院機構四国がんセンター　羽藤　慎二
トヨタ記念病院　岡本　泰岳
大阪公立大学医学部附属病院　中　麻里子
つくし野病院　勝尾　信一

シンポジウム4　11月27日(金)　15:15～17:15　　B会場(2F メインホールA)

オーガナイザー / 座長：齋藤　　登(獨協医科大学埼玉医療センター)
座長：中　麻里子(大阪公立大学医学部附属病院)

レジリエンスを高めるクリニカルパス活動へ
―施設の壁を越える地域パス研究会の実践と今後の展望―

SY4-1　頭と体を使ってパス仲間を作る！　パス関東のグループワーク
国立病院機構高崎総合医療センター　坂元　一郎

SY4-2　地域パス研究会のつくり方と育て方
伊勢崎市民病院　保田　尚邦

SY4-3　コロナ禍を超えて、つながり広がる富山県クリニカルパス研究会
富山県立中央病院　石井　貴之

SY4-4　愛媛クリニカルパス研究会の歩みと実践　成立から成果・課題まで
国立病院機構四国がんセンター　羽藤　慎二

SY4-5　東海クリニカルパス研究会の取り組み　～パスマインドをもって～

愛知県がんセンター　清水　淳市

シンポジウム５　11月28日(土)　9:00～11:00　C会場(2F メインホールB)

オーガナイザー：中熊　英貴(JAMI・JSCP合同委員会 事務局/済生会熊本病院)

オーガナイザー/座長：若田　好史(JAMI・JSCP合同委員会 委員長/徳島大学病院)

座長：山下　貴範(JAMI・JSCP合同委員会 副委員長/九州大学病院)

BOM、ePath の現在地とこれから ～ JAMI・JSCP 合同委員会報告 ～

SY5-1　JAMI・JSCP合同委員会のこれまで、現在地、これから

徳島大学病院　若田　好史

SY5-2　ePathの新展開 ー異業種連携・地域医療・AI活用ー

九州大学病院　山下　貴範

SY5-3　クリニカルパス流通基盤とePathへの展望

国立病院機構四国がんセンター　羽藤　慎二

SY5-4　ePathがつなぐデジタルヘルスの世界

一般社団法人医療データ活用基盤整備機構　岡田美保子

パネルディスカッション１　11月27日(金)　15:15～17:15　A会場(4F 国際会議室)

オーガナイザー/座長：小林　美亜(山梨大学医学部附属病院)

座長：池田　俊也(国際医療福祉大学)

共催：医療の質・安全学会、日本医療病院管理学会

第三者評価とクリニカルパスによる医療の質改善

PD1-1　クリニカルパスは医療の質・安全を高めているか？

日本医療機能評価機構　坂口　美佐

PD1-2　パスと連携システムで実践する患者安全の保証(薬剤編)

前橋赤十字病院　丸岡　博信

PD1-3　包括的指示セットの医療安全に関する効果

静岡済生会総合病院　矢崎　尚哉

PD1-4　第三者評価に資するパス標準化とBOM導入による質改善基盤整備

豊橋市民病院　中川　智晴

PD1-5　パス総数30%削減についての検討と多施設共同研究への取り組み

大阪労災病院　大西　幸作

パネルディスカッション２　11月27日(金)　9:15～10:45　C会場(2F メインホールB)

オーガナイザー/座長：小枝　伸行(八尾市立病院)

オーガナイザー/座長：濃沼　政美(帝京平成大学)

地域医療連携パスの薬物療法と地域フォーミュラリを再考する

PD2-1　地域フォーミュラリとクリニカルパス

八尾市立病院　小枝　伸行

PD2-2　横須賀での地域フォーミュラリの導入と実践

神奈川歯科大学附属病院　山崎　勇輝

PD2-3　地域連携パスを支える地域フォーミュラリの役割

横浜市立大学附属病院　小池　博文

PD2-4　地域フォーミュラリと地域連携パスにおける薬物治療の標準化

日本海総合病院　菅原　重生

パネルディスカッション３　11月27日(金)　13:40～15:10　C会場(2F メインホールB)

オーガナイザー / 座長：神山　智子(青森県立中央病院)

座長：嶋田　元(聖路加国際病院)

パスにおける多職種協働の記録：どう書き、どう活かすか

PD3-1　医師の立場からの診療記録

聖路加国際病院　嶋田　元

PD3-2　管理栄養士からみた、クリニカルパスにおける栄養関連記録の実態

前橋赤十字病院　根本　哲紀

PD3-3　パスの記録について ～リハスタッフの視点から～

青森県立中央病院　三上　和万

PD3-4　パスの境界を越える全患者アウトカム志向型記録への一元化と課題

市立東大阪医療センター　森廣　智

パネルディスカッション４　11月28日(土)　9:00～10:30　A会場(4F 国際会議室)

オーガナイザー：山下　裕(春日井市民病院)

座長：畠山　涼子(青森県立中央病院)

座長：樫木　祐未(上尾中央総合病院)

リハ職とクリニカルパスの「いい関係」を考える
―現場で求められる役割と、専門性を可視化する武器としてのパス―

PD4-1　パスはリハ職を変えるか　－３領域の実践が示す「いい関係」

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター　石井　伸尚

PD4-2　リハ職の専門性をパスに活かす　－構造化記録とアウトカムの活用－

済生会熊本病院　岡田　大輔

PD4-3　消化器外科手術パスへの嚥下評価導入の取り組み

国立病院機構弘前総合医療センター　山田　大介

PD4-4　大腿骨近位部骨折のバリアンスとリハ記録を活かしたパス分析

東京都済生会中央病院　秋葉　周

PD4-5　リハビリ職の専門性を活かしたパス活動の実践と課題

上尾中央総合病院　藤川　千春

パネルディスカッション５　11月28日(土)　14:05～16:05　A会場(4F 国際会議室)

オーガナイザー：中熊　英貴(医療情報委員会 委員 / 済生会熊本病院)

オーガナイザー：神山　智子(医療情報委員会 委員 / 青森県立中央病院)

座長：松原　拓郎(医療情報委員会 副委員長 / 社会医療法人財団松原愛育会)

座長：吉本　千鶴(医療情報委員会 委員 / 大阪公立大学医学部附属病院)

多職種で築く(使用する)BOMについて ～医師、看護師以外の職種のBOMとは～

PD5-1　全職種横断的データ収集を実現する用語基盤の確立を目指して

社会医療法人財団松原愛育会　松原　拓郎

PD5-2　薬学的介入をアウトカムとして可視化するための提言

兵庫県立尼崎総合医療センター　濱端　綾太

PD5-3　リハビリ部門におけるBOM活用

青森県立中央病院　畠山　涼子

PD5-4　栄養課題を可視化・継続支援へ繋げるBOMの提言

済生会熊本病院　山室　伊吹

PD5-5　ゼロから始める多職種でのBOM

神戸市立西神戸医療センター　坂梨　聡子

PD5-6　多職種活用を目指したBOMによる整形術後パスの検討

済生会福岡総合病院　中野　恵

パネルディスカッション6　11月28日(土)　9:00～10:30　B会場(2F メインホールA)

オーガナイザー / 座長：中　麻里子(大阪公立大学医学部附属病院)

座長：下村裕見子(北里大学大学院医療系研究科)

認知症パス、はじめの第一歩　―専門職の視点を統合した認知症パスの実装―

PD6-1　せん妄はパスで制す！抑肝散と不眠不穏時チャートの実装

東京都済生会中央病院　勝山　詠理

PD6-2　理学療法士の視点から認知症パスを考える

平内中央病院　米田　良平

PD6-3　在宅食支援と家族支援を踏まえた認知症パス構築

聖徳大学　高崎　美幸

PD6-4　患者・家族の意思決定を支える認知症クリニカルパスの検討

大阪公立大学医学部附属病院　森影由美恵

PD6-5　認知症パスの作り方・運用方法を考える
(基調講演)

社会医療法人財団松原愛育会　松原　拓郎

パネルディスカッション7　11月28日(土)　14:05～16:05　B会場(2F メインホールA)

オーガナイザー / 座長：木佐貫　篤(宮崎県立日南病院)

座長：山田　誠(岐阜市民病院)

新しい地域医療構想を実現する地域連携クリニカルパスをめざして

PD7-1　新しい地域医療構想実現のためのがん地域連携パスの役割と課題

岐阜市民病院　山田　誠

PD7-2　「新たな地域医療構想」における肺がん術後地域連携パスの役割

JA愛知厚生連　豊田厚生病院　岡阪　敏樹

PD7-3　新地域医療構想下の脳卒中地域連携パス改訂に向けた方法論

桜十字病院　寺崎　修司

PD7-4　新たな地域医療構想での南庄内脳卒中地域連携パスの役割と課題

鶴岡市立荘内病院　丸谷　宏

PD7-5　データと絆でつなぐ鶴岡の地域連携パスとNet4Uの実際

庄内南部地域連携パス推進協議会　三原　美雪

パネルディスカッション8　11月28日(土)　14:05～15:35　C会場(2F メインホールB)

オーガナイザー/座長：嶋田　元(企画・教育委員会 委員長/聖路加国際病院)

座長：丸岡　博信(企画・教育委員会 副委員長/前橋赤十字病院)

次世代指導者チャレンジセッション　―指導者養成コース受講後の報告―

PD8-1　次世代クリニカルパス指導者に期待される役割

聖路加国際病院　嶋田　元

PD8-2　パス専任看護師の青い鳥―すでに「ある」力を組織へつなぐ―

岩手県立宮古病院　阿部　志保

PD8-3　指導者養成コースの学びを活かした体験型パス教育の実践

いまきいれ総合病院　山内　久法

PD8-4　指導者養成コースで得られた知見と院内展開のモチベーション

東京都立松沢病院　唐津　洋志

PD8-5　受講者アンケート結果から振り返る2025年度指導者養成コース

前橋赤十字病院　丸岡　博信

論文奨励賞受賞報告　11月27日(金)　11:35～12:25　C会場(2F メインホールB)

座長：齋藤　登(編集委員会 委員長、獨協医科大学埼玉医療センター)

杉野　安輝(編集委員会 副委員長、トヨタ記念病院)

1. 適切な疼痛管理は看護師の業務負担軽減につながる
   ～疼痛バリアンス記録の構造化とデータ活用から得られた改善～

   済生会熊本病院　橋本　美穂
2. 患者状態適応型パスシステムを活用した新生児パスの作成

   公立陶生病院 周産期母子センター　甲斐　由美
3. 誤嚥性肺炎クリニカルパス導入による効果

   春日井市民病院　山下　裕

優秀英語論文賞報告／学術研究助成成果発表　11月28日(土)　9:00～9:50　F会場(3F 中会議室302)

座長：今田　光一(学術・出版委員会 委員長、黒部市民病院)

優秀英語論文賞報告

Effect of Lemborexant-Based Sleep Medication Formulary on Benzodiazepine Reduction and Clinical Outcomes: A Single-Center Retrospective Study

Neuropsychopharmacol Rep. 2025 Sep ; 45(3):e70054. doi: 10.1002/npr2.70054

成田赤十字病院　青木　竣哉

学術研究助成成果発表

学術研究助成-1　小細胞肺癌に対するタルラタマブ初回導入時のクリニカルパスの適用

信州大学医学部　荒木　太亮

パスよろず相談窓口　～医療情報委員会／企画・教育委員会合同企画～　11月27日(金)・11月28日(土)　(1F 展示ホールB)

オーガナイザー：中熊　英貴(医療情報委員会 委員/済生会熊本病院)

オーガナイザー：中　麻里子(企画・教育委員会 副委員長/大阪公立大学医学部附属病院)

学術セミナー

学術セミナー１　11月27日(金)　12:40～13:30　A会場(4F 国際会議室)

座長：柏村　健(新潟大学大学院医歯保健学研究科 循環器内科学)

肥満症

清末　有宏(社会医療法人社団 森山医会 森山記念病院)

共催：田辺ファーマ株式会社

学術セミナー２　11月27日(金)12:40～13:30　B会場(2F メインホールA)

座長：田口　泰嵩(日本電気株式会社 医療ソリューション統括部)

医療現場での生成AI利活用

栢　真由(日本電気株式会社　医療ソリューション統括部)

共催：日本電気株式会社

学術セミナー３　11月27日(金)12:40～13:30　D会場(2F 中会議室201)

座長：高山　亜美(新潟大学医歯学総合病院 循環器内科 検査部)

VTE診療の最前線～改訂ガイドラインに基づく実践的マネジメント～

乙井　一典(神戸大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌・総合内科学分野 総合内科学部門)

共催：第一三共株式会社

学術セミナー４　11月27日(金)12:40～13:30　E会場(3F 中会議室301)

座長：白鳥　義宗(岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院)

みんなで育てるクリニカルパス　～ベンチマークで「もっといいパス」に！

坂元　一郎(独立行政法人国立病院機構　高崎総合医療センター)

そのベンチマーク、どう続ける？
～病院ダッシュボードχによるクリニカルパス改善の実践～

太田　衛(株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン)

共催：株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

学術セミナー５　11月27日(金)12:40～13:30　F会場(3F 中会議室302)

座長：板橋　道朗(埼玉県済生会加須病院)

重症患者の栄養療法ガイドライン2024に基づいたProbioticsと早期経腸栄養の位置づけ

佐藤　武揚(東北大学病院 高度救命救急センター)

共催：ミヤリサン製薬株式会社

学術セミナー６　11月28日(土)11:55～12:45　D会場(2F 中会議室201)

座長：中島　瑞穂(社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟病院)

「標準化で生み出す看護の時間～経験に依存しない効率的な手術準備体制の構築～」

水口　直美(富山県立中央病院)
阿部　瑞恵(富山県立中央病院)

共催：株式会社リブドゥコーポレーション

座長：田中　良典(武蔵野赤十字病院)

多職種・現場起点の生成AI活用が拓く、業務効率化と経営改善
～個人の工夫を、病院全体の標準プロセスへ～

西村　直樹(社会医療法人財団慈泉会　相澤病院)

現場起点の病院DXを支える生成AI基盤
～業務の先回り支援と経営インパクトの可視化～

西村　里穂(Ubie株式会社)

共催：Ubie株式会社